

2 出稼対策事業

(1) 出稼の概要

当市の出稼労働者数は、昭和49年の8,489人をピークに減少傾向が続いている。

今後も出稼労働者の高齢化による引退などの要因により、出稼労働者数は年々減少していくものと見込まれる。また、出稼先における賃金不払、労働条件によるトラブルなどの諸問題も、最近では少なくなってきた。

①出稼労働者数

		令和3年度 (人)	令和4年度 (人)	対前年度比 (人、%)	
総数		58	47	△11	△19.0
就労形態	夏型	1	2	1	100.0
	冬型	40	25	△15	△37.5
	通年型	17	20	3	17.6
性別	男	54	41	△13	△24.1
	女	4	6	2	50.0

- ・対市人口比 3584.4 : 1 (令和2年国勢調査人口 168,466人)
- ・対就労人口比 1762.3 : 1 (令和2年国勢調査就労人口 82,826人)
- ・農林業兼業者 16人 (出稼労働者総数に占める割合 34.0%)

②就労地

都道府県	愛知県 (人)	東京都/ 埼玉県 (人)	神奈川県 (人)	長野県/ 富山県 (人)	その他 (人)	合計 (人)
出稼労働者数 (人)	12	7/7	4	3/3	11	47

③就労業種

	農林水産業 (人)	建設 (人)	製造 (人)	運輸通信 (人)	その他 (人)	合計 (人)
男	1	18	6	9	7	41
女	0	0	1	0	5	6
合計	1	18	7	9	12	47

④年齢構成

	10代(人)	20代(人)	30代(人)	40代(人)	50代(人)	60代~ (人)	合計(人)
男	0	0	3	5	15	18	41
女	0	0	1	0	1	4	6
合計	0	0	4	5	16	22	47

(2) 出稼援護事業

出稼労働者に対する安定的就労と作業環境の安全衛生を確保し、福祉の向上を図るため出稼援護対策を実施している。

①相談活動 就労前の指導、各出稼援護対策の周知、相談受付
＜市民課、商工労政課、各総合支所、各出張所＞

②健康診断の実施 ※自己負担額 3,800 円

- 対 象 出稼労働者手帳を持っている弘前市民
受診日時 随時
受診方法 出稼労働者手帳を持って直接指定医療機関の窓口へ
検査項目 ①既往歴及び業務歴の調査
②自覚症状及び他覚症状の有無の検査
③身長、体重、視力、聴力の検査
④胸部X線検査
⑤血圧測定
⑥血液一般検査
⑦肝機能検査
⑧血中脂質検査
⑨代謝系検査
⑩尿検査
⑪心電図検査

健康診断受診実績

年度	受診者数(人)
平成 28 年度	73
平成 29 年度	61
平成 30 年度	43
令和元年度	41
令和 2 年度	19
令和 3 年度	22
令和 4 年度	19